

業種名	前年同月比				業種名	前年同月比					
	売上受注	取引条件	収益状況	業界の景況		売上受注	取引条件	収益状況	業界の景況		
食料品製造業	漬物	→	→	→	→	卸売業	肥料	↑	→	→	→
	醤油・味噌	→	→	→	→		◎卸団地(津)	↑	→	↑	↑
	豆腐	→	→	↓	↓		◎商業(鳥羽)	↓	→	→	→
	麺	↑	→	→	→		◎青果(松阪)	→	→	→	→
繊維製品製造業	◎組紐(伊賀)	→	→	→	→	小売業	自転車	↓	↓	↓	↓
	衣料縫製	→	→	→	→		家電	↓	→	↓	↓
	テントシート	↓	→	↓	↓		石油	↑	→	→	↓
木材・木製品	↓	↓	↓	↓	スポーツ用品		→	→	→	→	
紙・紙加工品	段ボール箱	↓	↓	↓	↓	商店街	◎熊野市	→	→	→	→
	古紙	↓	→	→	↑		自動車整備	→	→	↓	↓
印刷	↓	→	→	→	サービス業	宿泊施設	↓	→	↓	↓	
窯業・土石製品	生コンクリート	↑	→	→		→	旅行業	↓	→	↓	→
	◎陶磁器Ⅰ(萬古焼)	↓	→	↓		↓	◎飲食業	→	→	→	→
	◎陶磁器Ⅱ(伊賀焼)	↓	→	↓	→	警備業	→	→	→	→	
金属・一般機器・電気機器・輸送機器	鍍金	→	→	→	↓	建設業	総合工事業	↑	→	→	→
	◎機械器具(四日市)	↑	→	↑	↑		内装工事業	↓	↓	↓	↓
	◎機械器具(久居)	↑	→	→	→		電気工事業	→	→	→	→
	◎機械器具(伊勢)	↓	→	↓	→		◎水道工事業(四日市)	→	→	→	→
	◎電気機器(鳥羽)	↓	↓	↓	↓	運輸	トラック輸送	→	→	↓	→
	◎輸送機器(鈴鹿)	↓	→	↓	→		◎不動産(鈴鹿亀山)	→	→	→	→

↑…増加・上昇・好転 →…変わらず ↓…減少・下落・悪化 ◎…地域単位の組合

情報連絡一覧票

(三重県中小企業団体中央会・平成26年6月分)

	集計上の分類業種	具体的な業種	組合及び組合員の業況等（景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点）
製造業	食料品	豆腐	豆腐の原材料である国産大豆の収穫量は前年比15%減で、9年ぶりの高値である。生産コストが上がる中、消費税増税後で販売価格を値上げするのは困難な状況である。
		麺	伊勢うどんは5月に比べると売り上げはやや上向きになってきているが、麺の価格はまだまだ上がらない状況が続いている。また副資材、材料、ガソリン、重油等の価格が上昇しているが製品価格には反映できていない。
	繊維工業	テントシート	主要な材料となる生地が7月20日頃から値上げされる旨の通知が各問屋からあった。
	紙・紙加工品	紙器段ボール箱	消費税率引き上げによる前倒し納入分のマイナス影響も一段落した様子であり、食品、飲料を中心に前年並みの出荷量をキープしている。
		古紙	6月期の仕入高は、前年比段ボールは約98%（増減4%前後）、新聞・チラシは約94%（増減4%前後）、雑誌等その他合わせて約97%（増減4%前後）といった中での推移である。軽油・ガソリン・電気代の値上げにより5年前に比べ月40～70万円程の負担増となり、一部仕入価格の高止まりと併せて利益減となっている。また、人件費の上昇、人手不足等が拍車を掛けている。古紙を持ち去る行為も活発化しており集荷減の一因になっている。持ち去りグループのナンバープレートの付け替えが常習化しており、無車検・損害保険等の未加入も予見され、善良な県民が事故の被害に合わないよう願っている。
	窯業・土石製品	伊賀焼	伊賀焼伝統産業会館及び伊賀・信楽古陶館の売上高と入館者は、3ヶ月続いて前年と比べ大きく減少している。特に、今月については両館ともに過去最低の売上高となった。ガソリンの高騰により外出せず、旅行や買物を自粛している影響が大きいと思われる。
	鉄鋼・金属	鍍金	当業界の生産量は5月と同様横ばい状態であるが、自動車関連部品の生産量は4月5月と比べ若干減少傾向にある。半導体関連は依然好調で7月も同様に推移するとの観測がなされている。その他の製品に関しては使用用途によって様々であるが、横ばいの傾向がしばらく続く模様である。
	一般機器	四日市	大手企業の下請企業は、相変わらず仕事量は増えているものの収益面で厳しい状況にある企業が見受けられる。
	一般機器	久居	4月から6月は予想通り業況は悪いが7月以降に回復基調になるようであるので、少し明るさが見える景況である。
	電気機器	鳥羽	全体的に動きが鈍化しており、当然売価も競争によりダウンし、昨年同期と比べても上回ることは決していない状況である。
輸送機器	鈴鹿	市内の大手自動車メーカーでは3ヶ月連続で生産調整があり、1日分の稼働が繁忙期の振り替えになっている。当業界においても会社ごとに業績のギャップが厳しく、景況が良いのか悪いのか、正直なところよく分からない状況である。	
非製造業	小売業	青果	梅雨入りしたが月の前半は雨が少なく、野菜の入荷は安定。胡瓜等の果菜類は生育が良好で価格は安かったが、後半には果菜類は入荷のピークが過ぎ、少し値上がりしている。
		自転車	5～6月にかけて売上低迷が続く中、自転車の安全教室、安全点検を行う学校が多くなり組合員が奉仕活動を行っている。国内の生産金額は過去8年間一貫して上昇を続けており、25年度の平均単価は電動アシスト車を含めると44,380円で過去最高となった。しかし出荷台数は過去最低を示した。また、各ショップでの修理部門の稼働も非常に少ないとの情報もある。
	小売業	家電	6月に入りエアコン・冷蔵庫等の季節商品の動きが活発になってきた。メーカー各社は市場の活性化を図るため、従来は秋口に発売する新商品を前倒しで発売している。今年は昨年より梅雨入りが一週間遅く、増税後でもあり個人消費が伸び悩んでいる。小売店は今月最終週から7月中旬にかけての催事に昨年以上の期待をかけている。
		石油	6月度の燃料販売数量については、4月からの消費税増税の影響及びイラク情勢の緊迫感、原油価格上昇に伴う石油製品の値上げにより販売数量が前年に対して3%から4%の減販である。ガソリン看板価格も毎週値上げ状況で170円/l前後と値上がりしている。又、この暑さの影響によりエアコンの稼働に伴いガソリンの使用が増える時期である。各給油所については、夏商戦においてバッテリー、タイヤ、オイル等の販売が始まっているので、オイル・タイヤ交換等の車の点検をこの機会に利用してほしい。
		スポーツ用品	老舗中の老舗であった四日市市内のスポーツ店が、自己破産申請の準備に入ったとの新聞報道があった。県下の他地域から見ると人口の多い地区でもあるしうらやましい存在であったが、大規模客を取られたのが原因とのことである。中小の小売スポーツ店としては、やはり外商の比率を高めて学校販売を中心に考えていくほか方法が無いように思われる。

非製造業	商店街	熊野	熊野ベースボールフェスタや熊野市ラグビーフェスティバルが今年も開催され、スポーツ集客により多くの宿泊で賑わった。この時期としては観光集客は閑散期となるため、こういった集客事業は観光業者には好評のようである。また、商店街としては地域商店街活性化事業補助金が昨年に続き採択されており、地域グルメに特化したイベントを昨年よりパワーアップさせて9月からの開催を予定している。
	サービス業	旅館	昨年の春は遷宮効果で3月より潮目が変わったような勢いで活況を呈していたが、今年の春は消費増税等の影響もあってか個人客は低調、団体客は横ばいの傾向が4月以降も続いている。今月も同様であるが、電気料金をはじめインフラ関連の諸経費の高騰が収益を圧迫している。
		飲食業	昨年秋以降に相次いだ大手ホテル等における食材偽装表示問題を受け、消費者庁より本年3月に飲食店等のメニュー表示ガイドラインが策定された。これを受けて本年4月以降、組合としても県内組合員個々の自主的で適切なメニュー表示への取り組みを促進するために、行政当局が主催する研修会に積極的に参加する等、消費者からの信頼回復に努めている。
		警備業	公共事業が発注されたが、まだ着工していないため先月同様仕事量は不変である。
	建設業	内装工事業	4月以降需要の減少が続いており、今月も厳しい状況に変わりはない。また、人手不足の影響もあり、経営が大変苦しくなっている。
	運輸業	トラック	高騰が続く燃料高が、事業経営を圧迫している。

行政庁・中央会に対する要望事項

集計上の分類業種	具体的な業種	行政庁・中央会に対する要望事項、または関心のある事項、意見等
製造業	四日市	集団的自衛権に関する憲法解釈など、将来若者が戦争に巻き込まれぬよう、国民の論議に計るべきである。それより何よりも内需拡大を望む。
製造業	久居	法人実効税率の引下げで、税収の目減り分の代替財源はどこから捻出するのか。弱者負担は避けて欲しい。
製造業	伊勢	最近の国の施策を見ていると大企業中心のように見受けられるため、もう少し中小企業にも配慮をお願いしたい。
小売業	スポーツ用品	三重県当局には、なるべく入札制度を少なくして随意契約の活用をお願いしたい。先日も国体準備局より見積合わせがあったが、各個店への依頼であった。組合があるのだから、組合へ注文を出して欲しい。
サービス業	旅館	44年ぶりに旅行収支が黒字となり、外客の増加は業界にとっては結構なことであるが、旅館業法を軽視した民宿、その他旅館ホテル類似施設を許可することによる「安心安全」の低下を懸念している。
運輸業	トラック	燃料高騰対策として、燃料に係る税の一部については当分の間の税率の見直し、廃止を強く要望する。